

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：都市住宅課

担当課長名：相馬 和則

事業名	中央通（登別市）		事業区分	街路	事業主体	北海道
起終点	自：北海道登別市富岸町1丁目 至：北海道登別市若山町1丁目				延長	1.9 km
事業概要						
当路線は、登別市西部に位置し、登別市～室蘭市間を連絡する骨格幹線街路であり、また、道央自動車道の登別室蘭ICに接続しており、そのICを経由し登別市、室蘭市への物流経路となっている。当路線を新設、拡幅し、骨格幹線を形成する。						
事業の目的、必要性						
当路線の拡幅整備により高速道路及びそのICを介して、登別市、室蘭市への物流経路としての円滑な交通が確保され、また交通が混雑している国道36号の交通負荷を軽減するとともに、都市間の連絡強化を図る。						
全体事業費	2.8億円			計画交通量	20,200台/日	
費用便益分析結果	B/C	総費用	総便益		基準年	
	5.0	2.4億円 事業費：22.6億円 維持管理費：1.2億円	1.18億円 走行時間短縮便益：116.8億円 走行費用減少便益：0.8億円 交通事故減少便益：0.6億円		平成15年	
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（整備区間にバス路線が存在し利便性の向上が図られる） ・物流効率化の支援（特定重要港湾室蘭港へのアクセス向上が見込まれる） ・都市の再生（市街地の都市計画道路網密度が向上する） ・歩行者・自転車のための生活空間の形成（当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待される） 他4項目に該当（定量的評価項目を含む）						
関係する地方公共団体等の意見						
中央通は、市街地中心部へのアクセス性の向上、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待され、早期整備が必要である。						
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。